

千里ライフサイエンスセミナー K5 「組織を支える幹細胞と微小環境(ニッチ)」

日 時：2017年3月3日(金) 10:00～15:50

場 所：千里ライフサイエンスセンタービル5階

山村雄一記念ライフホール(大阪府豊中市新千里東町
1-4-2, 地下鉄御堂筋線/北大阪急行千里中央下車)

趣 旨：

生体の臓器や組織を構成する成熟した細胞の多くは寿命が短く、新陳代謝を繰り返していますが、組織幹細胞という特別な細胞が補給を続けることで恒常性が維持されています。組織幹細胞とは、生涯にわたる高い自己複製能力をもつと同時に、組織を構成する分化細胞を供給する能力をもっており、iPS細胞やES細胞とは異なり、少数ながら生体組織内に実在する幹細胞です。組織幹細胞は、組織が損傷した際の再生にも中心的な役割を担う反面、自己複製を繰り返すことで遺伝子の変異が蓄積しうるので、大部分の癌の発生母体となり、組織の老化においても重要です。また、組織幹細胞の多くは、単独では生存、機能できず、組織のなかでニッチと呼ばれる特別な微小環境と接着し、維持・制御されています。したがって、組織幹細胞とその司令塔であるニッチは、発生学や幹細胞生物学に加え、再生医学、癌や老化の研究分野においてもその重要性が注目されており、近年、その理解が大きく進んでいます。本セミナーでは、世界に通用する成果をあげて活躍する研究者がさまざまな臓器での最新の知見をわかりやすく紹介します。活力ある研究の息吹を感じながら、これから解明すべき問題を含めて議論いただけましたら幸いです。

プログラム：

1. 血液細胞産生の司令塔、造血幹細胞ニッチの解明
長澤丘司(大阪大学大学院生命機能研究科/医学系研究科・医学部 教授)
2. 精子形成幹細胞の集団動態とそれを支える“開放型”ニッチ

吉田松生(自然科学研究機構基礎生物学研究所 教授)

3. 幹細胞ヒエラルキーとその形成機序

森本 充(理化学研究所多細胞システム形成研究センターチームリーダー)

4. がんニッチ細胞による腫瘍悪性化の分子基盤

井垣達吏(京都大学大学院生命科学研究科 教授)

5. 消化器上皮および消化器腫瘍における幹細胞ニッチ制御機構

佐藤俊朗(慶應義塾大学医学部 特任准教授)

6. 毛包の幹細胞の制御と老化のしくみ

西村栄美(東京医科歯科大学難治疾患研究所 教授)

コーディネーター：

長澤丘司(大阪大学大学院生命機能研究科/医学系研究科・医学部 教授)

西村栄美(東京医科歯科大学難治疾患研究所 教授)

参加費：無料

申込要領：氏名、勤務先、所属、〒所在地、電話番号、E-mail アドレスを明記のうえ、E-mail で下記宛てにお申し込みください。件名は「千里ライフサイエンスセミナー K5」としてください。

申込先：千里ライフサイエンスセミナー K5 係

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル 20 階

Tel：06-6873-2001

E-mail：sng@senri-life.or.jp

URL：http://www.senri-life.or.jp/seminar-1.html

主 催：公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団

担 当：湯通堂 隆(Takashi Yutsudo, Ph.D.)

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

Tel：06-6873-2001 Fax：06-6873-2002

E-mail：sng@senri-life.or.jp